

牛群検定ビッグデータ（その17）

～難産率（年次別）～

牛群検定のビッグデータから分かる色々なことを本コーナーで紹介していきます。今回は、難産率（年次別）についてです。

牛群検定では、分娩難易を5段階で報告しており、そのうち「2～3人を必要とした助産」以上のものを、難産としています。

前回、その16では産次別の難産率を示しました。今回は年次別の難産率です。平成22年から令和2年まで、毎年約50万件の分娩がありました。平成22年の難産率は4.73%でしたが徐々に改善し、現在では約3.9%で横ばいとなっています。

なお、本集計にはF1や和牛受精卵といった肉用牛生産も含まれますので、ご注意ください。

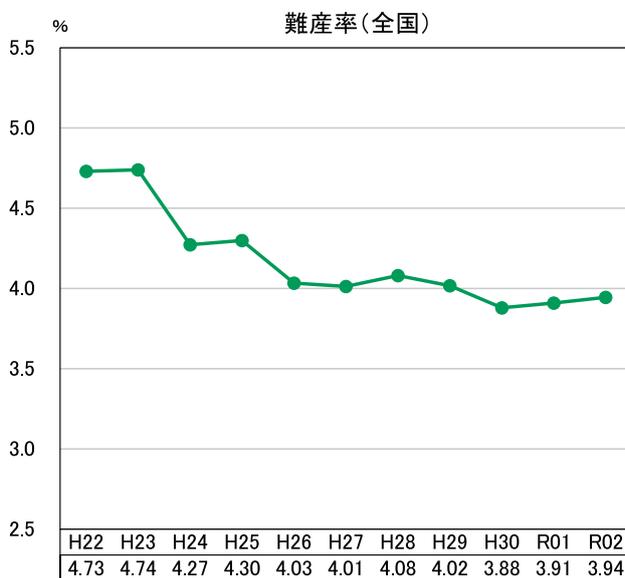


表 牛群検定における分娩難易

コード	内容
1	自然分娩
2	ごく軽い分娩介助
3	2～3人を必要とした助産
4	数人を必要とした難産
5	外科処置または母牛死亡

難産

